

QUARTERLY REPORT OF JAPAN HEART FOUNDATION

No.224

心臓財団 季報

SEP.10, 2016



公益財団法人
日本心臓財団

〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル4階
●Tel 03-5324-0810 ●Fax 03-5324-0822
●e-mail : info@jhfr.or.jp ●URL : http://www.jhfr.or.jp

2016年 健康ハートの日

～皆様からのご支援で今年も無事開催することができました～

日本心臓財団では、8月10日が810(ハート)と読めることから、「健康ハートの日」と定め、全国各地でこの日を中心に健康イベントを開催・共催しています。

今年は東京では7月31日(日)、豊橋、名古屋では8月10日(水)、岐阜、京都では8月11日(祝)に開催されました。

各地のイベントの様子を、写真とともにご紹介します。

健康ハートの日2016(東京)に参加して

杉本 恒明(日本心臓財団顧問)

東京での健康ハートの日イベントは昨年と同じ、新宿高島屋の1階JR口特別会場にて催行された。

私は終日、受付の椅子に座った。私の病院の患者であるという座り込んでいく人もいた。病院にいくと、かかりつけ医に戻される、そのまま続けて診てもらうためにはどうすればよいのか、と問う人があって、病診連携の意味を説き、不安ならば、こうしてはどうか、と説明する。他人から難しい心電図を預かってやってきた人もいた。精密検査には何をするか、説明したが、わかってもらえただろうか。日本心臓ペースメーカー友の会の方々も誘い合って来てくれていた。

朝、まだ早い時間にアスピリンを服用していて、出血斑が出るというご老人がいた。青いのは出血斑ですが、茶色のは老人斑です、ご覧なさい、私にもあります、という私の説明に納得しなかったのだが、医療相談コーナーで、このような斑点なら、脳には出血しないのだと説明された、と喜んでいて。

医師の説明に納得できたという喜びの声が多かったが、気にしていた心電図をみる事ができた、動脈硬化度がわかった、などと喜んでくれた人も多くあった。

救急蘇生の体験は、場所柄もあり小中学生が少なかったが、昼ごろからフル稼働になっていた。相当な年配のご婦人二人が胸骨圧迫を学んでいた。ご主人の方が一を気遣うのであろう。背中に真剣さが溢れてみられていた。

ハートナビという心臓模型による心室細動の実演には、

細動以外の不整脈の質問が多かったと担当の先生がおっしゃっていた。

栄養相談はフード・モデルを用いて、塩分、味付け、野菜摂取のありようを説明しているようだった。そんなに塩分をとっているのか、と驚きがあったという。塩分量計が用意されていた。私は尿中塩分量を知るためにこれがほしかったのだが、市販にはなっていないという。何年もの間、何が隘路になっているのであろうか。モデル食品数が少なかったか、という反省があったが、少ないほうが頭には残りやすいのではないだろうか。

心電図計測で期待していたのは心房細動だったが、あまり頻度は高くなかったらしい。心電図計測は携帯型心電計の啓発を兼ねているつもりであるが、そのように活用されているであろうか。

動脈硬化度検査はいつも希望者が多い。受付口で何の検査なのかを聞いただけで引き返した人がいたので、どうしたのか、と聞くと、血管年齢を知



りなかったという。会場では動脈硬化度検査となっていて、血管年齢が示される検査とわからなかったようだ。血管年齢検査という表現は医学的によくない、といわれるかもしれないが、わかりやすい表現は大事なのではないか。

イベント終了後の反省会では、検査の流れ、順序、動線にもう少し考慮の余地はないか、という意見があった。また、多くの人に来ていただくためには事前告知が大事であるという指摘もあった。



オムロンヘルスケアとフクダ電子のスタッフの皆さんには、折角の日曜日を返上して協力してもらっているので、「健康な人というものを対象にする機会がないので参考になった」と言ってもらえると、やってよかったと思える。

私の思う健康ハートの日の効用は、財団職員と市民、間に介在する医師、検査技師との交流である。その意味では今回も充実した一日だった。

休日返上で協力してくださった皆さんには改めて心から感謝したい。



第17回「8月10日はハートの日」豊橋

今年のテーマは「健康な食事で認知症を予防しよう」で、高齢社会には心臓病とともに関心の高い認知症を取りあげ、ロワジュールホテル豊橋にて開催しました。講演会のゲストには、白澤卓二先生をお迎えし、楽しいご講演は、約800名の参加者皆、大変満足された様子でした。

また、同時開催イベントである無料健康診断、AED

と心肺蘇生法講習会にも多数の参加がありました。その他、栄養士と理学療法士の先生による栄養と運動の観点からみた認知症ミニレクチャーや、豊橋ハートセンター看護部による認知症チェックや体操体験コーナーにも多くご参加いただきました。



第8回ハートの日 in NAGOYA

「運動と食事で健康寿命を延ばそう」をテーマに名古屋国際会議場にて開催し、参加者は1,000名を越えました。えごま油のレシピや血管年齢測定ブースは多くの人で賑わっていました。講演会は「生きることは動くこと」(外山淳治先生)、「食べることは生きること」(加藤治美先生)と題して、心臓病予防の観点から運動と食事についてご講演がありました。恒例になった日本舞踊

の西川右近先生による日舞エクササイズ「NOSS」と元名古屋フィルハーモニー交響楽団の熱田敬一氏による「ハートコンサート」も行われました。

「ハート座談会」では、ゲストに元プロ野球選手の山本昌氏を迎え、現役時代の健康管理についてのお話などを伺いました。



第8回ハートの日 in GIFU

岐阜市産業文化センター・じゅうろくプラザで「家族で心臓病を考える」をテーマに開催され、お年寄り、現役世代、お子様の3世代にわたり1,575名の参加者に恵まれました。子ども体験学習会では地域の小学生を対象に、検脈や心臓手術の紹介をすることで心臓病や病院の仕事について学んで頂きました。ハート講演会では横

須賀共済病院の高橋淳先生に心房細動の治療についてわかりやすく説明して頂きました。そのほか同時開催イベントとして、ロコモティブ・シンドローム対策をテーマにした運動教室・栄養教室をはじめ、救急蘇生法講習会、子ども体験コーナーなども実施しました。



第3回京都ハートの日

「心臓病にならないために」というテーマで、メルパルク京都にて市民公開講座が開催され、約150名の市民にご参加いただきました。

講演では、今井優健康運動指導士から「心臓リハビリは心機能の回復と同時に、仕事への復帰や運動など日常生活への不安を取り除くことも大切な役割」というお話

や、木下法之先生から「急増している心筋梗塞の最大の原因である動脈硬化の進行を防ぐ生活習慣の改善」についてお話がありました。その後のシンポジウムでは、パネリストが事前に寄せられた会場からの質問に丁寧にお答えしていました。



動脈硬化と食品中の脂肪の種類

脂肪の種類を見分けるのが肝心!

岡村 智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教授)

2016年6月に開催された「第52回日本循環器病予防学会学術集会」市民公開講座「食事で脳卒中・心病を撃退! ~ニッポンデータ全国2万人調査でわかった最新情報~」より、慶應義塾大学医学部教授の岡村智教先生による「脂肪の種類を見分けるのが肝心!」を紹介します。

●動脈硬化の進展の仕組み

はじめに、脂肪と関係が深い動脈硬化についてお話しします。

動脈硬化とは、動脈(体に酸素や栄養を運ぶ血管)の内側に粥腫(アテローム)ができて狭くなり、血液の流れが悪くなったり、詰まったりしやすくなった状態です。粥腫(アテローム)には必ずコレステロールが存在しています。

コレステロールは、体の機能の維持に不可欠ですが、「水と油は混ざらない」といわれることからわかるように、血液には溶けません。そのためコレステロールは、蛋白質で包まれた「リポ蛋白」という名の、いわば舟のようなものに乗って全身の血液中に運ばれます。

「リポ蛋白」のうちLDL(低比重リポ蛋白)という舟に乗って運ばれるコレステロールが、LDLコレステロールです。LDLコレステロールは動脈硬化と関連が深いため、悪玉コレステロールとも呼ばれています。

動脈硬化の進展には、血管壁に侵入したLDLコレステロールが関与しています。血管壁に侵入したLDLは酸素の働きにより酸化され、酸化LDLに変化します。するとバイ菌などを食べて体を守っているマクロファージ(白血球の一種)が、これを異物として認識して食べてしまいます(貪食)。しかし本来食べるはずのバイ菌ではないので制御がきかず際限なく食べ続けることになり、貪食によって作られた細胞(泡沫細胞)がたくさん蓄積されていきます。

やがてこの泡沫細胞が死滅すると、中身のコレステロールがまき散らされます。まき散らされたコレステロールが血管の内膜に蓄積し、これが動脈硬化に繋がるのです。

わが国の長期追跡調査であるニッポンデータ80(1980年の調査対象者)では、その一環として総コレステロール値と心筋梗塞死亡との関連も調べています。

総コレステロール値160~179mg/dLの群の死亡リスクを1とした時、男性で240mg/dL以上、女性で260mg/dL以上の群で心筋梗塞死亡リスクが4倍近くあり、統計学的に意味があるという差をつけて(*有意差あり)上昇していました。(図1)

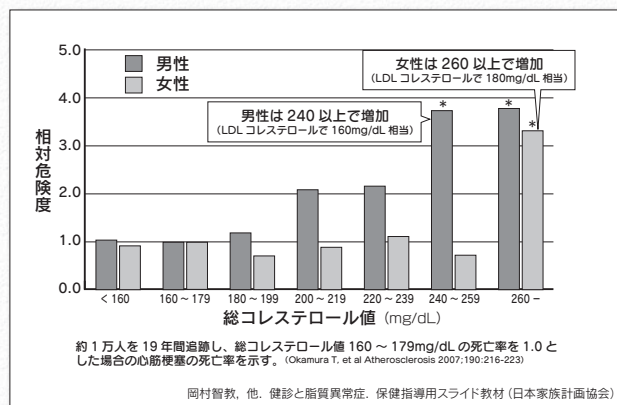


図1: 総コレステロールと心筋梗塞死亡

これは日本人約1万人を約19年間追跡して得られた結果です。総コレステロール値240mg/dL、260mg/dLは、おおまかですが80を引いて各々、LDLコレステロール値160mg/dL、180mg/dLに相当すると考えて良いでしょう。

●食品中の脂質の種類

動脈硬化を防ぐためには、動脈硬化の成り立ちからみて、いろいろな方法が考えられます。

「コレステロールの酸化を防ぐ」、「マクロファージの機能を抑える」、「内膜の肥厚を削る」、「血中のコレステロールを減らす」、などです。

しかし、酸素呼吸している以上、酸化を防ぐのは難しい、マクロファージの機能を抑えれば免疫機能が弱くなるなど、研究の試行錯誤を重ねた結果、最も妥当だとした残ったのが、現在広く行われている「血中のコレステロールを減らす」方法だったのです。

食品中の脂質の種類には、コレステロールと中性脂肪(トリグリセライド)があります。

コレステロールはヒトの体(細胞膜など)を作る材料です。一日に食事から摂る量は0.5g(500mg)程度で、これ自体にエネルギーはありません。

エネルギー源となるのが中性脂肪です。エネルギー源としてはまず血糖が使われますが、それで不十分なときには中性脂肪が使われるのです。食品に含まれる脂肪は

ほとんどが中性脂肪で、1g=9kcalとエネルギーが高いのが特徴です(糖質・蛋白質は1g=4kcal、アルコールは1g=7kcal)。

日本人は、実はイギリス人やアメリカ人と比べて、男女とも食事からのコレステロール摂取量が多いのが特徴です。しかし、だからといって血中コレステロールが高いというわけではありません。

それはなぜかといえば、食事性コレステロールの摂取源として、日本人は多い順に鶏卵、魚介類、肉類です。イギリス人は肉類、鶏卵、牛乳・乳製品、アメリカ人は肉類と鶏卵が同じ程度に多く、次いで牛乳・乳製品です。

つまり、日本人は魚介類からのコレステロールをたくさん食べているのが特徴なのです。

脂肪酸には、飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸があります。不飽和脂肪酸のうち魚介類に多く含まれるのが多価不飽和脂肪酸です。

日本人、イギリス人、アメリカ人の飽和脂肪酸摂取量を比べると、日本人では男女ともイギリス人、アメリカ人の半分ほどと少なくなっています。

一方、魚介類由来の多価不飽和脂肪酸摂取量は、男女とも日本人では、イギリス人、アメリカ人を圧倒的に上回っていました。

魚介類由来の多価不飽和脂肪酸とは、よく耳にするエイコサペンタエン酸(EPA)、ドコサペンタエン酸(DPA)、ドコサヘキサエン酸(DHA)などです。

●食品中の脂肪の見分け方

(たくさん含まれているのは飽和脂肪酸？それとも不飽和脂肪酸？)

血中には、肝臓で作られたコレステロールと食事からのコレステロールの両方が存在していますが、大部分は肝臓で作られたものです。食事からのコレステロール摂取量が多くても、血中コレステロールが高いというわけではないのは、こうした理由からです。

とはいつても、血中コレステロールの約5分の1は食事由来なので、コレステロールの摂り過ぎは良くはありません。

しかし、まず肝臓で合成されるコレステロールを下げるような食生活を心がけることが重要です。

肝臓におけるコレステロールの合成には、食事からの脂肪酸の種類が大きな影響を与えています。

さきほどご紹介した脂肪酸のうち、飽和脂肪酸といわれるものはラードや肉の脂身などに含まれており、一般に動物系です。飽和脂肪酸は肝臓でのコレステロールの合成を促進します。

一方、不飽和脂肪酸といわれるものは、紅花油やサラダ油、魚油などに含まれており、一般に植物系、魚油系です。不飽和脂肪酸は肝臓のコレステロールの合成を抑制する働きがあります。(図2)



図2: 飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の見分け方

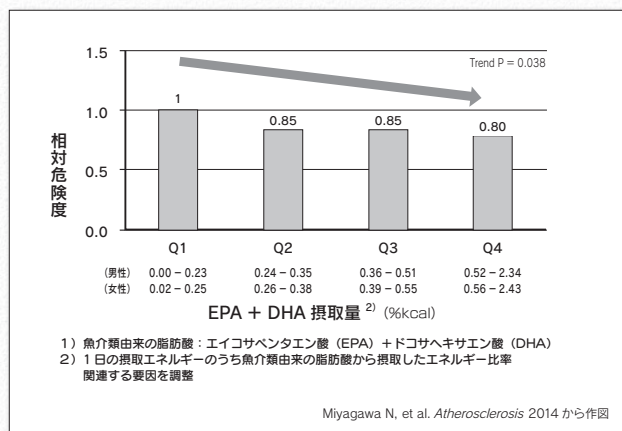


図3: 魚介類由来の多価不飽和脂肪酸摂取量と循環器疾患死亡との関連 (NIPPON DATA80、24年追跡、男女計)

では、その食品に多く含まれるのが飽和脂肪酸か、不飽和脂肪酸かを見分けるにはどうしたら良いのでしょうか？

それは、冷蔵庫に入ると、固まる油が飽和脂肪酸(バター、ロースハムなど)、固まらない油が不飽和脂肪酸(ごま油、魚や魚の卵など)です。

不飽和脂肪酸を多く摂ることが望ましいのですが、飽和脂肪酸を多く摂る機会があったなら、次の機会には不飽和脂肪酸を多く摂るといった、バランスの良い食事にする工夫も大事です。

魚介類由来の多価不飽和脂肪酸を摂取する量が多くなるほど、循環器疾患(脳卒中+心筋梗塞)による死亡リスクが最大で20%ほど低下することが、ニッポンデータ80からわかっています(統計学的に有意差あり)。

(図3)

脂肪の種類をしっかりと見分けて、血中のコレステロールが上がらないように注意しましょう。

魚をしっかりと食べる伝統的な日本食は、塩分の摂り過ぎにさえ注意すれば、理想的な健康食になるのです。

平成28年度 日本心臓財団研究奨励募集

心臓血管病(心臓病、脳卒中、高血圧、動脈硬化症等)の成因、治療あるいは予防に関する独創的研究に対し実施します。

1. 研究奨励金および応募資格

(1) A 第42回日本心臓財団研究奨励

1件200万円を10件。

わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる40歳未満の研究者(1976年4月1日以降に生まれた者)。

B 第7回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

1件100万円を3件。

Aの応募対象者のうち基礎研究室に所属する研究者。

C 第7回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

100万円を1件。

Aの応募対象者のうち女性研究者。

(2) 第4回日本心臓財団拡張型心筋症治療開発研究助成(ほのかちゃん基金)

1件200万円を2件。

わが国に在住し、拡張型心筋症の基礎、臨床または予防に携わる研究者。年齢制限はありません。

なお、応募はひとり1件に限ります。研究奨励金を受けた者は、同一の研究奨励に再度応募できません。

2. 応募方法・期間

平成28年9月1日～10月15日。

当財団ホームページの応募要項をご覧の上、応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入して事務局宛にメールと郵送にてお送りください。

第30回 日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成募集

日本心臓財団では日本循環器学会の後援のもとにバイエル薬品株式会社の協力を得て、循環器領域の少壮研究者が海外の研究機関等に留学し、独創性のある研究や萌芽的な研究を行う場合の渡航費並びに滞在費の一部を補助するために海外留学助成を実施します。

1. 助成対象

心臓病・脳卒中・高血圧・動脈硬化症等の循環器領域の研究に携わる研究者

2. 助成額

1件300万円とし原則として10件

3. 応募資格

次の事項のすべてに適合する者

- 1) 初めての海外留学であること
- 2) 40歳未満(1977年4月1日以降生まれ)で日本在住であること

- 3) 1年以上留学し、帰国後日本の学術振興に寄与すること
- 4) 留学先研究機関の責任者または受入者の承諾を得ていること
- 5) 一定の研究業績を有すること
- 6) 2017年4月1日～2018年3月31日の間に出発の予定であること

なお、選考決定後、留学前に留学先を変更した場合や期間内に出発の予定が決まらない場合は、取消することもあります。

4. 応募方法・期間

2016年10月1日～11月30日。

当財団ホームページの応募要項(9月末公開予定)をご覧の上、応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入して事務局宛にメールと郵送にてお送りください。

第21回 日本不整脈心電学会学術奨励賞

平成28年7月14日～17日、札幌コンベンションセンターにて、第63回日本不整脈心電学会学術大会(会長:青沼和隆筑波大学循環器内科学教授)が開催され、期間中に日本心臓財団が後援する第21回学術奨励賞の贈呈が行われました。

これは日本不整脈心電学会の会員であり、不整脈・心電学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、将来発展の期待される40歳未満の研究者に贈られるものです。受賞者は以下のとおりでした。

最優秀賞

斎藤 幸弘(岡山大学病院循環器内科)

高橋 健太(日本医科大学附属病院循環器内科学)

安達 亨(筑波大学医学医療系循環器内科学)

優秀賞

近藤 秀和(大分大学医学部附属病院循環器内科・臨床検査診断学講座)

教室(医局)・病院(医院)・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

教室(医局) 賛助会員

北海道大学循環器内科
札幌医科大学循環器内科
東北大学循環器内科
山形大学第一内科
福島県立医科大学循環器内科
筑波大学循環器内科
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科
獨協医科大学心臓・血管内科
獨協医科大学越谷病院循環器内科
群馬大学循環器内科
千葉大学循環器内科
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科
日本大学循環器内科
駿河台日本大学病院循環器内科
帝京大学循環器内科
帝京大学附属溝口病院循環器内科
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科
日本医科大学循環器内科
日本医科大学多摩永山病院循環器内科
日本医科大学千葉北総病院循環器内科
東京大学循環器内科
順天堂大学循環器内科
東京医科歯科大学循環器内科

慶應義塾大学循環器内科
東京医科大学循環器内科
東京医科大学八王子医療センター循環器内科
東京慈恵会医科大学循環器内科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科
東京女子医科大学東医療センター心臓血管診療部
昭和大学藤が丘病院循環器内科
東邦大学医療センター大橋病院循環器内科
杏林大学循環器内科
横浜国立大学循環器内科
聖マリアンナ医科大学循環器内科
北里大学循環器内科
東海大学循環器内科
東海大学付属八王子病院循環器内科
新潟大学循環器内科
金沢大学循環器内科
金沢大学先進総合外科
金沢医科大学循環器内科
信州大学循環器内科
浜松医科大学循環器内科
名古屋大学循環器内科
三重大学循環器内科
滋賀医科大学呼吸循環器内科

京都大学循環器内科
関西医科大学循環器内科
奈良県立医科大学第1内科
大阪大学循環器内科
近畿大学奈良病院循環器内科
神戸大学循環器内科
島根大学循環器内科
広島大学循環器内科
山口大学循環器内科
徳島大学循環器内科
愛媛大学循環器内科
高知大学老年病・循環器・神経内科
九州大学循環器内科
福岡大学心臓血管内科
福岡大学筑紫病院循環器内科
佐賀大学循環器内科
長崎大学循環器内科
熊本大学循環器内科
大分大学循環器内科
宮崎大学循環器内科
鹿児島大学心臓血管内科

病院(医院) 賛助会員

江別市立病院
北海道大野病院
北海道社会事業協会帯広病院
札幌中央病院
仙台厚生病院
仙台赤十字病院
本荘第一病院
三友堂病院
国際医療福祉大学病院
茨城県立中央病院
常陸大宮済生会病院
慶友会慶友整形外科病院
千栄会高瀬クリニック
田口会新橋病院
博仁会第一病院
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院
北里大学メディカルセンター
埼玉県立循環器・呼吸器病センター
さいたま市民医療センター
深谷赤十字病院
東葛病院
板橋中央総合病院
江戸川病院
関東中央病院
榊原記念病院
聖路加国際病院心血管センター
虎の門病院
武蔵野赤十字病院
小田原循環器病院
国際親善総合病院
横浜栄共済病院
済生会横浜市南部病院
新潟県立がんセンター新潟病院
済生会富山病院
富山赤十字病院

金沢医療センター
佐久市立国保浅間総合病院
抱生会丸の内病院
岐阜総合医療センター
澄心会岐阜ハートセンター
慈朋会澤田病院
東海中央病院
松波総合病院
菊川市立総合病院
聖隷浜松病院
市立湖西病院
澄心会名古屋ハートセンター
名古屋第二赤十字病院
大台厚生病院
永井病院
近江八幡市立総合医療センター
亀岡病院
京都桂病院
京都第一赤十字病院循環器内科
洛西ニュータウン病院
大阪府三島救命救急センター
りんくう総合医療センター
兵庫県立尼崎総合医療センター
北播磨総合医療センター
神戸アドベンチスト病院
三栄会ツカザキ病院
製鉄記念広畑病院
高清水高井病院
健生会土庫病院
誠佑記念病院
公立那賀病院
東広島医療センター
済生会広島病院
福山循環器病院
岩国医療センター

美祢市立病院
済生会今治病院
今治第一病院
喜多医師会病院
近森会近森病院
済生会福岡総合病院
杉循環器内科病院
原三信病院
福岡市医師会成人病センター
福岡新水巻病院
熊本赤十字病院
済生会熊本病院
都城市郡医師会病院
青仁会池田病院
鹿児島県立北薩病院
鹿児島市医師会病院
鹿児島生協病院
かりゆし会ハートライフ病院
翔南会翔南病院
豊見城中央病院

医師会 賛助会員

日本医師会
群馬県医師会
埼玉県医師会
東京都医師会
太田市医師会
沼田利根医師会
藤岡多野医師会
前橋市医師会
上尾市医師会
さいたま市与野医師会
狭山市医師会
本庄市児玉郡医師会
葛飾区医師会

当財団をご支援くださる方

賛助会員として本年度にご支援をいただいた方々のご芳名を掲載させていただきました。

(2016年6月～8月)

| | | | | | |
|----------|----------|---------|---------|----------|----------|
| 足達 寿 様 | 小川 聡 様 | 倉林 正彦 様 | 須磨 幸蔵 様 | 沼口 宏太郎 様 | 三浦 克之 様 |
| 新博 次 様 | 小川 勝 様 | 栗原 敏 様 | 住吉 昭信 様 | 野原 隆司 様 | 三嶋 綾乃 様 |
| 阿部 倫明 様 | 荻野 和郎 様 | 児玉 安司 様 | 千田 彰一 様 | 野村 雅則 様 | 水重 克文 様 |
| 天野 篤 様 | 小澤 利男 様 | 後藤 京子 様 | 高木 雅彦 様 | 橋場 邦武 様 | 三田村 秀雄 様 |
| 有田 眞 様 | 小野 高史 様 | 後藤 紘司 様 | 高田 重男 様 | 橋本 敬太郎 様 | 宮垣 武司 様 |
| 池田 孝之 様 | 小野 稔 様 | 小林 祥泰 様 | 高本 眞一 様 | 羽田 勝征 様 | 村田 勝敬 様 |
| 井澤 英夫 様 | 片見 初江 様 | 小柳 仁 様 | 高安 徹雄 様 | 濱 正孝 様 | 村田 和彦 様 |
| 和泉 徹 様 | 加藤 正明 様 | 近藤 高明 様 | 高柳 寛 様 | 林 輝美 様 | 望月 茂 様 |
| 磯 博康 様 | 金古 善明 様 | 近藤 隆久 様 | 竹越 襄 様 | 早野 元信 様 | 矢崎 義雄 様 |
| 市川 悦 様 | 金丸 憲司 様 | 金野 秀美 様 | 武田 信彬 様 | 原 和弘 様 | 安井 昭二 様 |
| 市田 露子 様 | 加納 達二 様 | 坂田 泰史 様 | 田中 元直 様 | 比江嶋 一昌 様 | 泰江 弘文 様 |
| 伊藤 正明 様 | 河合 忠一 様 | 坂本 知浩 様 | 津上 賢治 様 | 菱田 仁士 様 | 安村 誠司 様 |
| 伊藤 隆之 様 | 川井 和哉 様 | 坂本 三哉 様 | 塚本 宏 様 | 平岡 昌和 様 | 矢永 尚士 様 |
| 伊藤 貞嘉 様 | 川島 康生 様 | 佐地 勉 様 | 辻 幸臣 様 | 平田 健一 様 | 山下 武志 様 |
| 伊藤 七郎 様 | 河村 慧四郎 様 | 佐田 政隆 様 | 堤 健 様 | 平田 恭信 様 | 山田 和生 様 |
| 今村 聡 様 | 上松瀬 勝男 様 | 佐藤 修 様 | 鄭 忠和 様 | 日和田 邦男 様 | 山村 憲 様 |
| 打田 俊司 様 | 北村 和雄 様 | 佐藤 和徳 様 | 外山 淳治 様 | 福田 宏嗣 様 | 家森 幸男 様 |
| 梅村 敏 様 | 絹川 真太郎 様 | 猿田 享男 様 | 永井 良三 様 | 福田 孝太郎 様 | 吉松 秀明 様 |
| 浦 信行 様 | 木之下 正彦 様 | 治田 絵美 様 | 長澤 一成 様 | 細田 瑳一 様 | 渡邊 英一 様 |
| 遠藤 政夫 様 | 木原 康樹 様 | 島田 和幸 様 | 永田 篤子 様 | 前村 浩二 様 | (五十音順) |
| 大川 眞一郎 様 | 木村 剛 様 | 下川 宏明 様 | 中原 容 様 | 松尾 裕英 様 | |
| 大島 文雄 様 | 木村 彰方 様 | 杉 薫 様 | 中村 眞潮 様 | 松岡 博昭 様 | 他匿名14名 |
| 大和田 憲司 様 | 楠岡 英雄 様 | 杉澤 和美 様 | 西川 章 様 | 松崎 益徳 様 | |
| 岡島 光治 様 | 楠川 禮造 様 | 杉本 恒明 様 | 西村 重敬 様 | 松永 正人 様 | |
| 岡田 幾太郎 様 | 久保田 徹 様 | 須藤 英仁 様 | 丹羽 明博 様 | 三浦 傳 様 | |

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。ここに厚く感謝申しあげご芳名を掲載させていただきました。

(2016年6月～8月)

| | | |
|---------|----------|---------|
| 小池 千代 様 | 杉野 千恵子 様 | 高橋 靖 様 |
| 西浦 妙子 様 | 野崎 宏美 様 | 花澤 曜聿 様 |
| 平山 友茂 様 | 福田 扶佐子 様 | 古田 恵子 様 |
| 前田 拓也 様 | 松坂 忠則 様 | 村上 勝彦 様 |
| 山本 和子 様 | 他 匿名2名 | |

■セカンドオピニオンへのご寄附

| | | |
|---------|---------|--------|
| 金野 礼子 様 | 更谷 元三 様 | 西澤 廣 様 |
| 早川 洋司 様 | 他 匿名3名 | |

■小さなハートをつなぐ基金

| | |
|---------|---------|
| 隈本 納実 様 | 鈴木 信司 様 |
| 他 匿名1名 | |

ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行っております。

今後もこのような活動を継続させていただけますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げます。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店

普通 0801474

■三菱東京UFJ銀行 丸の内支店

普通 4025878

■ゆうちょ銀行

一般振替口座 00140-3-173597

(ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキュウ)店

当座 0173597)

口座名：公益財団法人 日本心臓財団

ザイ) ニホンシンゾウザイダン

*法人賛助会員のご芳名は、来年3月号にまとめて掲載させていただきます。